

# 和良の郷だより

紅葉号  
10月1日号  
和良おこし  
協議会発行



## 岐阜大学・大阪産業大学 地域調査実習の「報告

### 「和良おこし協議会の地域ネットワーク構築」

岐阜大学地域科学部 林琢也ゼミによる地域調査実習が8月21日（火曜日）から23日（木曜日）にかけて行われました。以前には移住者への聞き取り調査、移住者と地域住民との繋がりに関しての調査も行われてきましたが、今回は「和良おこし協議会メンバーのネットワークに関する調査」です。和良おこし協議会メンバーには、会における自身の役割や、参加の経緯、事業やイベントでの役割などから、和良おこし協議会の活動における手応えや課題、目標などを含めた今後の活動への携わり方、メンバー間でのコミュニケーションなどについて聞き取りがされました。

和良おこし協議会の事業には「田んぼオーナー制度・ファームトラスト制度」、「T型集落点検・集落支援事業」、「移住促進事業」、「体験型ツーリズムの実証」、その他には他団体と連携しての和良町のPR、



あったり、支援をいただきながら共に地域を考えて行く団体、事業所として和良地域協議会、和良地域公民館、郡上市役所、和良振興事務所、郡上市商工会、和良川漁業協同組合、和良川を守る会、和良堂を守る会、和良観光協会などの方々への聞き取り、その他にも各団体の代表を務めたり、広く団体に参加されている方にも調査が行われ、今後の和良おこし協議会の活動や事業に関して改めて考える部分にもお話が及んだことと思います。

和良おこし協議会と集落や地域との繋がりに関してや、和良町でどのように活動が行われて行くのかといった事も調査によって見えてくるように思います。

また、今夏の取組として、2日目はメンバーの家庭に泊まる「民泊」の様なスタイルでの聞き取りも行われました。各家庭ではおもてなしも行われ、より親睦も深められたように思います。

毎年、岐阜大学地域科学部 林ゼミでは、和良町でも「卒業論文発表会」を開催いただいております。今年度も予定をしており、その際には、今回の調査結果の発表も行われます。そちらの日程なども決まりましたら、ご報告させていただきますと思います。



「民泊」のようなスタイルも取り入れて  
聞き取り調査中もリラックスした雰囲気



### 「あの頃の和良村」

9月11日（火曜日）から12日（水曜日）にかけて、大阪産業大学デザイン工学部環境工学科 川田美紀ゼミの学生さんが、授業の一環で和良町を訪れました。昔の写真を手掛かりに、和良町の景観の移り変わりや生活文化について、地域を巡って、写真の場所を特定したり、またその当時のお話などの聞き取り調査を行いました。

資料写真は、大正時代から昭和初期の頃の白黒のモノで、なかなか場所を特定できなかつたりする事もありました。同じ写真からも年齢層によつては少しずつ位置がずれていたりすることもありました。

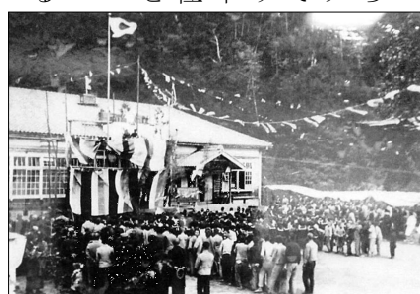
調査に伺ったところでは、写真を見ながら話している、いろいろな事を思い出して、涙ぐまれる姿もありました。

「昨日の事は覚えてなくても、昔の事はよく覚えてるわ」などと冗談を交えながら、大学生の質問以上に昔の思い出を話していただけました。

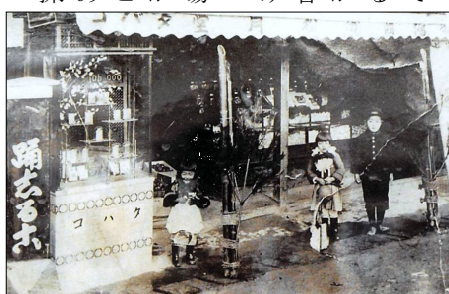
なかには、どうしても場所やその写真の状況が分からない所もあります。どこかでお話しを伺う機会がありましたら、こちらでも探してみたいと思います。



昭和5年11月 柿の共同出荷の様子（場所不明）



年代不明 土京小学校の様子（土京）



年代不明 菓子屋（松月堂）の店先（下洞）

日本一うまい「和良鮎まつり」  
— 黄金色に輝く鮎の塩焼きがお値打ちです！ —



とき：10月28日（日曜日）雨天決行  
時間：10時00分より15時00分まで  
ところ：道の駅和良特設会場

主催：和良鮎まつり実行委員会  
岐阜県郡上市和良町宮地1-155

出演：桜 ゆみ <演歌歌手>  
二村 卓也 <マジシャン>  
みつき <クラウン>  
源流プラス <プラスバンド>  
ブルースターズ <昭和歌謡> など

鮎の塩焼きコーナーはもちろん、鮎ごはんや軽食、スイーツなどの「うまいものひろば」。  
カレッシュセルや各種団体の活動報告、移住相談窓口、写真展示や子ども屋台村などの「おたのしみひろば」。  
和太鼓・郡上陣屋組や、プロアーティストによる「ステージイベント」。さらに「サプステージ」にて音楽イベントなどなど、お楽しみは盛りだくさんです。

【問合せ先】和良鮎まつり実行委員会  
☎0575(77)2211（和良振興事務所内）

スポフェスWARA2018  
— 笑顔あふれるスポーツの和 —

とき：10月21日（日曜日）悪天中止  
時間：9時00分より15時30分まで  
ところ：和良総合グラウンド

主催：和良地域公民館  
主管：和良地区公民館 スポーツ健康推進部  
共催：市自治連合会和良支部 市体育協会和良支部  
市スポーツ推進委員和良地域部  
市和良振興事務所

競技：地区種目 6種目 「源平まり入れ」ほか  
団体種目 4種目 「台風の目」ほか  
東西種目 1種目 「東西対抗綱引き」  
有志種目 3種目 「家族でドン」ほか  
（公民館シニアサポーター考案の種目も登場します！）

今年は2年に1度の町民軽スポーツ大会、スポフェスWARAの開催年です。青空の下、スポーツやレクリエーションを通して健康な体づくりをすると共に、地域住民の親睦を深めましょう！

有志種目の参加者大募集中！ふるって応募ください。  
【問合せ先】スポフェスWARA2018事務局

☎0575(77)2724  
（和良町民センター内 和良地域公民館）



保育園児から大人まで多世代が参加できて交流できるのが和良町のいいところ！  
＝写真は2016年のスポフェスWARA



空き家の情報をお寄せください  
— すくっと暮らし続けられる和良町を目指して —

和良おこし協議会では、持続する町づくりの一環として移住促進を進めています。和良町各自治会の方々のご協力をいただいで、空き家を所有している方から物件情報を集め、和良町に住みたいという方にご紹介をさせていただきます。

和良町に住みたいとお考えの方には、相談窓口として情報のご提供や、不安の解消といった側面からサポートを行い、移住の達成後も地域の人々との交流や自治会活動などに関するアドバイス等のフォローアップも行っています。

この取り組みは平成27年度より始まり、これまでに和良おこし協議会を通して「21世帯44名」の方が移住されてみえました。移住をされた皆さんは、それぞれの想いを持って、地域の一員として和良町で暮らして居られます。

郡上市や和良町へは、現在も移住希望者から多くの問合せや相談がありますが、ご紹介できる空き家が少ない現状となっています。

その一方で和良町内では空き家が増えています。維持管理ができなくなった空き家は、数年で手を入れなくては住めなくなり、防犯上も危険ですが、空き家に住む人があれば家の管理ができます。

移住者の方にご紹介できる空き家の情報をお持ちの方や、まずは仕組みについてじっくり話が聞いてみたいという方がありましたら、ご連絡をお待ちしております。

和良町の人口 平成30年10月1日現在



【問合せ先】和良おこし協議会  
担当：加藤☎0575(77)2277